

## 『学校生活のためのにほんご やまのぼり』をご購入くださった皆様へ

このたびは、本書をお手に取っていただきありがとうございます。本書の「はじめに」にもありますように、外国人散在地域で子どもの日本語支援実践者が長い年月をかけて作成した指導書&ワークブックです。

実践者であります「松本市子ども日本語教育センター」は現在、日本語教師や教員免許を所持する「日本語教育支援員」と、日本で長く暮らし地域の外国人リーダーである「バイリンガル支援員」が活動し、長野県松本市内の支援が必要な児童生徒の日本語学習をサポートしています。

本書作成の構想は出版の 7 年ほど前に遡ります。日本語習得が思うように進まない子ども、おしゃべりはできても読み書きに難しさを抱える子ども、日本語をなかなか話そうとしない子どもなど、目の前にいる子どもが見せる姿は様々で、支援員はそれぞれに合った指導法や教材は何か、試行錯誤を繰り返しました。また、散在地域であるため、なかなか持続可能な日本語指導体制が構築されにくい現状も見えてきました。

そこで立ち上げたのが教材作成プロジェクトです。既存の日本語教材の分析からスタート、学習項目を洗い出し、子どもたちの学校生活に密着した場面を設定した上で語彙、文型を選定し、各課の構成を考えました。続いて、試用版テキストを作成し、日本語教育支援員が実際に現場で使用しながら、修正を重ねました。語彙や文型理解の助けとなるイラストも同じ仲間が描き上げました。

ぜひ、本冊とともに、こちらの web 版もご活用ください。

松本市子ども日本語教育センター

石坂清子、大久保順子、片田しのぶ、加藤美乃里、川澄利枝子、木下千夏、栗林恭子  
黒澤雅江、近藤友香里、渋谷千秋、傳刀美香、西尾淳、波多腰純子、濱田邦子、林瑞紀  
古橋崇子、持山シャロン、百瀬千里、森祐子、柳沢こづえ、柳下博江、山口真弓

(50 音順)